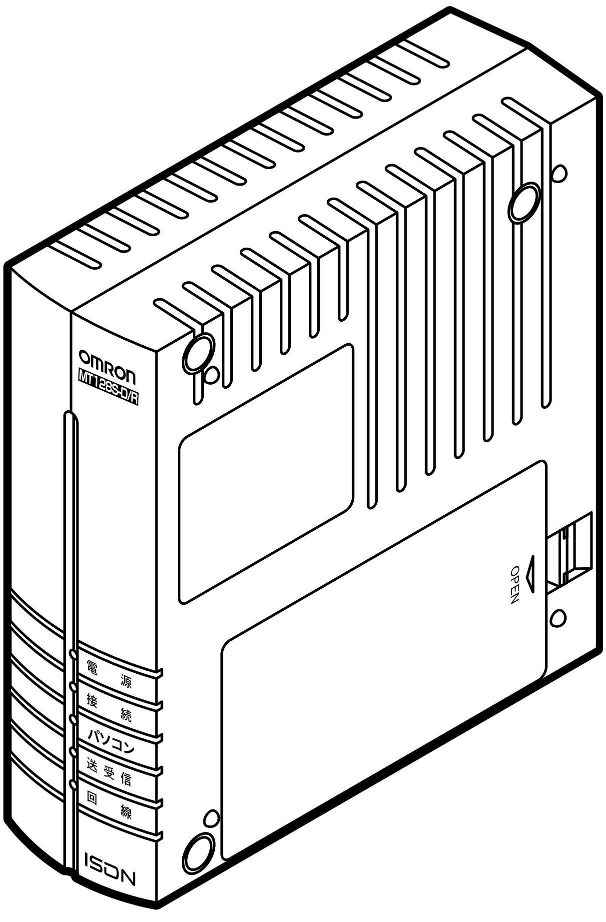
同期128kbps/64kbps

DSU内蔵ISDNターミナルアダプタ

MT128S-D/R

はじめにお読みください



●はじめに

このたびは、オムロンISDNターミナルアダプタMT128S-D/Rをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本冊子「はじめにお読みください」は、MT128S-D/Rの設置やドライバのインストール、インターネットに接続する際の手順や注意事項について記載したものです。
本冊子は、必要な時にいつでもご覧になれるように、本製品の近くに置いてご使用いただくことをお勧めいたします。

◇本冊子の読み方

最初に、必ず本体取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。また、本冊子を読み、本製品の使いかたを充分理解してください。本冊子は、基本的操作、設定を説明したものです。詳細は、本体取扱説明書をお読みください。

● 「何から始めればいいの？」では、インターネットへ接続したり、アナログ機器を使用するまでの手順を記載しています。
● 「準備をする…設置・アナログポートの動作確認」では、本製品の同梱品の内容やISDN回線と電話機との接続やアナログポートなど通信を始めるために行っておくべき内容を記載しています。
● 「セットアップする」では、それぞれのパソコンでのドライバのインストールやインターネットへ接続する手順について記載しています。
● 「お困りのときには」では、ドライバのインストールやインターネットへ接続する場合に発生するトラブルとその対処方法について、WindowsとMacintoshの場合について記載をしています。
アナログポートのトラブルにつきましては、本体取扱説明書P82の「お困りのときには」に記載をしています。

◇目　次

●はじめに 1

◇本冊子の読み方 1

◇目次 2

●何から始めればいいの？　WINDOWS編 4

●何から始めればいいの？　MAC編 5

●準備をする...設置・アナログポートの動作確認 6

◇STEP１　同梱物を確認しましょう 6

◇STEP２　ISDN回線と電話機を接続してみましょう 7

●セットアップをする（Windows９８/９５） 8

◇STEP１　自動インストーラでドライバをインストールしましょう 8

■ドライバのインストール 9

■設定用のファイルのインストール 10

■簡単設定ユーティリティのインストール 10

■MT128Sの設定 11

■インターネット接続の設定 12

■追加の設定 13

■アンインストール 14

■ドライバを手動でインストールする 15

◇STEP2　インターネットへ接続しましょう 20

●セットアップをする（WindowsNT4.0） 21

◇STEP１　パソコンと接続しましょう 21

1 ドライブの確認 21

2 パソコンとの接続 22

3 モデム設定ファイルを組み込む 23

4 ダイヤルアップネットワークを設定する 25

◇STEP2　インターネットへ接続しましょう 26

●セットアップをする（Mac OS 8.5以上） 27

◇STEP1　パソコンと接続しましょう 27

1 パソコンとの接続 27

2 CCLファイルの組み込みをする 28

◇STEP2　インターネットの接続設定をしましょう 29

■インターネット接続手順 29

◇STEP3　インターネットへ接続しましょう 31
1 インターネットへ接続する 31
2 インターネット接続を終了する 32
●セットアップをする（Mac OS 7.6以上） 33
◇STEP1　パソコンと接続しましょう 33
1 パソコンとの接続 33
2 CCLファイルの組み込みをする 34
◇STEP2　インターネットの接続設定をしましょう 35
■インターネット接続手順 35
◇STEP3　インターネットへ接続しましょう 37
1 インターネットへ接続する 37
2 インターネット接続を終了する 37
●セットアップをする（Mac OS 7.5以上） 38
◇STEP1　パソコンと接続しましょう 39
1 パソコンとの接続 39
◇STEP2　インターネットの接続設定をしましょう 40
■インターネット接続手順 40
◇STEP3　インターネットへ接続しましょう 43
1 インターネットへ接続する 43
2 インターネット接続を終了する 43
●お困りのときには 45
◇チェック表による確認 45
■Windows 45
■Macintosh 48
◇ドライバの削除方法 50
■Windows 50
■Macintosh 51
●お問い合わせ票 52

●何から始めればいいの？ WINDOWS編

パソコンへ必要なソフトをインストールし、設定してください。
※本製品をご使用になる前に必ず「本体取扱説明書」の「安全上のご注意」をお読みください。

準備をする

STEP1 同梱物を確認しましょう

↓ ISDN回線工事は終了していますか？

STEP2 ISDN回線と電話機を接続しましょう

↓ 電話機が使えることを確認しましょう

セットアップをする

STEP1 自動インストーラで、ドライバのインストールをしましょう

- 電話の通話に使用する
- インターネットで使用する
- 電話の通話とインターネットに利用する

パソコンとの接続　～設定用ファイルのインストール～

～簡単設定ユーティリティのインストール～

～MT128Sの設定～

～インターネットの接続の設定～（インターネットで使用する／電話の通話とインターネットに利用する場合）

- 電話の通話に使用する → 設定完了！
- インターネットで使用する／電話の通話とインターネットに利用する → STEP2 インターネットへ接続しましょう

アナログポートの設定をしたい

- ナンバーディスプレイを使用したい
- ボイスワープを使用したい

などの各種設定 ⇒ 簡単設定ユーティリティを使用します。本体取扱説明書を参照してください。

●何から始めればいいの　MAC編

パソコンへ必要なソフトをインストールし、設定してください。
※本製品をご使用になる前に必ず「本体取扱説明書」の「安全上のご注意」をお読みください。

準備をする

STEP1 同梱物を確認しましょう

↓ ISDN回線工事は終了していますか？

STEP2 ISDN回線と電話機を接続しましょう

↓ 電話機が使えることを確認しましょう

セットアップをする

STEP1 パソコンと接続しましょう（ドライバのインストール）

インターネットへ接続したい

- インターネットプロバイダに加入済みの方
- これからインターネットプロバイダに加入する方

オンラインサインアップ用の電話番号がISDN対応になっているかご確認ください。

STEP2 インターネットの接続設定をしましょう

↓

インターネット接続手順 → STEP3 インターネットへ接続しましょう

アナログポートの設定をしたい

- ２台の電話機を呼びわけたい
- ナンバーディスプレイを使用したい
- ボイスワープを使用したい

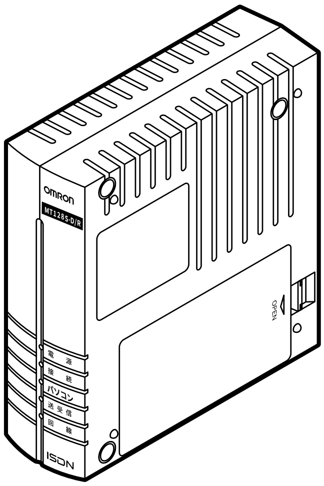
などの各種設定

簡単設定ユーティリティを使用します。本体取扱説明書を参照してください。

MAC編

●準備をする...設置・アナログポートの動作確認

重要

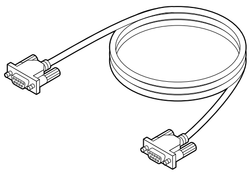
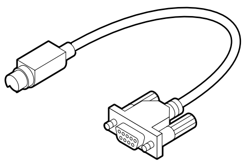
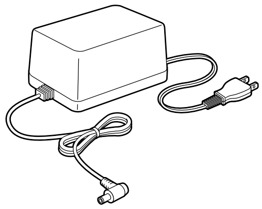
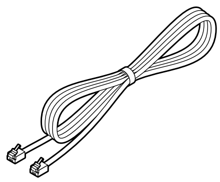


MT128S-D/R

留意事項

●本体取扱説明書 P17の「■接続時の注意点」もご一読ください。

◇STEP１　同梱物を確認しましょう

● RS-232C ケーブル 	● Macintosh 変換コネクタ 	● AC アダプタ 	● INS 回線ケーブル 
● 簡単設定ユーティリティ＆ドライバ（CD-ROM）		● 取扱説明書、保証書、ご愛用登録カード、必ずはじめにお読みください（本冊子）	

不足、損傷等がないか、確認してください。不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店または当社カスタマサポートセンタ（TEL：0559-77-4717）にご連絡ください。

ISDN回線の工事は終わっていますか？

YES(はい)

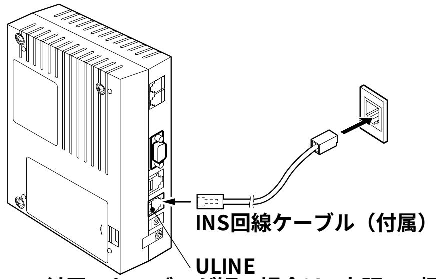
次の手順に進んでください。

NO(いいえ)

ISDN 回線の工事を NTT に申し込んでください。工事が終わったら YES へ進んでください。
ISDN回線のお申し込み方法は本体取扱説明書のP96をご参照ください。

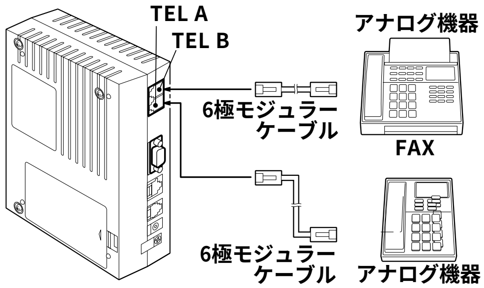
◇STEP 2 ISDN回線と電話機を接続してみましょう

① ISDN 回線との接続
付属の INS 回線ケーブルで ULINE と ISDN 回線をつなぎます。



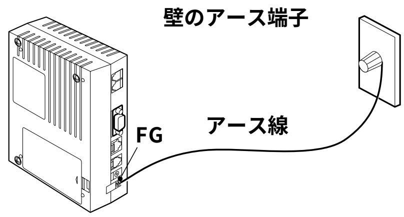
付属のケーブルが短い場合は、市販の6極2芯または6極4芯のケーブルをご使用いただけます。

② アナログ機器との接続
アナログポートとアナログ電話機、ファクシミリ、モデム等をつなぎます。

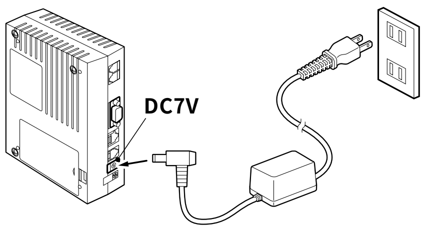


アナログ機器(電話機、ファクシミリ、モデム等)をトーン(PB)に切り替えてください。（詳細はアナログ機器の取扱説明書をご参照ください。）

③ アースとの接続
通信中にノイズは入ったり、雷が多いところでは、FG をアースとつなぎます。
※アース線はお客様で準備してください。



④ AC アダプタと電源の接続
プラグをDC7Vに接続後、ACアダプタの電源プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



以上で接続は終了しました。

電話機が使えることを確認しましょう

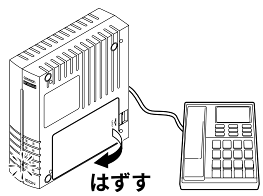
まず電話機を使うことができるかを確認します。
ここでは 117（時報）にかけてみましょう。

■ TEL A（または TEL B）に接続した電話機の受話器をあげます。

電話機での操作		電話機からの応答
受話器を上げる	→	ツー（第一発信音）
117 をダイヤルする	→	ピッ　ポッ　パッ
		時報のアナウンスが聞こえます

■つながらない時には？
電源を切って、再度、電源を入れ直してください。
正常に動作しない場合には、本体取扱説明書 P82「お困りのときには」をご覧ください。

回線ランプが点滅している



回線の異常が考えられます。極性リバーススイッチを切り替えてみてください。
(→本体取扱説明書 P14)
※詳しくは本体取扱説明書 P82 の「お困りのときには」をご覧ください。

アナログポートの設定（「2 台の電話機を呼びわけたい」、「ボイスワープの設定をしたい」等各種設定）、インターネットへの接続をする場合は、ご使用のパソコンが Windows の方は「●セットアップをする」（P8 以降）へ、Macintosh の方は「●セットアップをする」（P27 以降）へ進みます。

●セットアップする …… Windows98/95

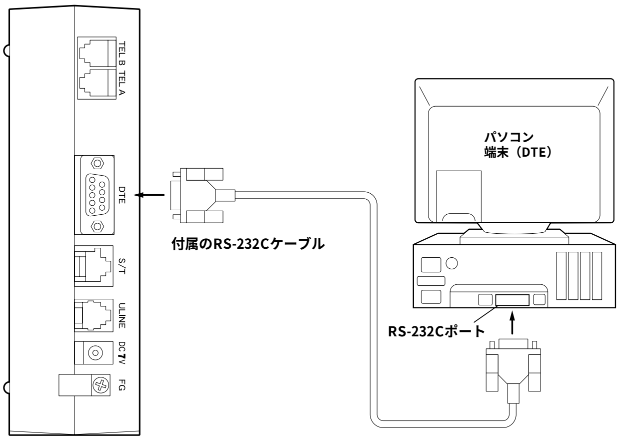
◇STEP１　自動インストーラでドライバをインストールしましょう

留意事項

●本手順書の内容は一例です。詳細は、ソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。
●インターネットに接続するには「ダイヤルアップネットワーク」、「TCP/IP」をインストールする必要があります。場合によっては、お手持ちのWindows98/95のCD-ROMが必要になりますので、ご準備ください。すでにインストールされている場合は、「ダイヤルアップネットワーク」、「TCP/IP」をインストールを行う必要はありません。

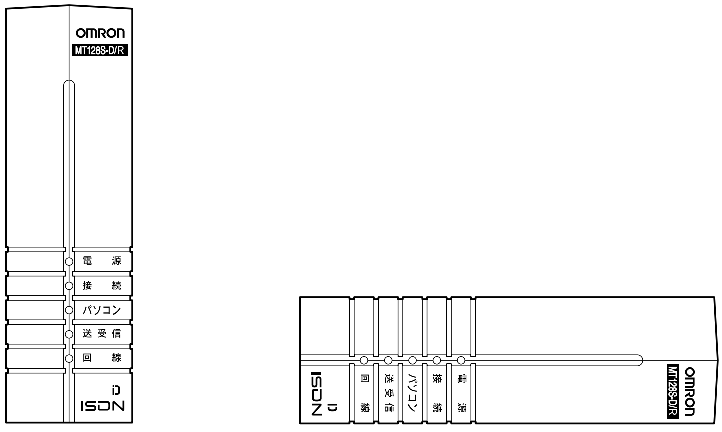
■パソコンとの接続

P7「STEP2　ISDN回線と電話機を接続しましょう」の接続が終わっていることをご確認ください。



■設置

本装置は縦置きも横置きも可能です。設置されるスペースに応じて、置き方を変えてください。



縦置き　　横置き

留意事項

●本体取扱説明書P17の「■接続時の注意点」もご一読ください。

■ドライバのインストール

MT128S-D/Rをお使いのパソコンにインストールする場合は、以下の手順で設定を行ってください。ただし、設定する内容によって、画面が若干異なる場合があります。

① 添付のCD-ROMをお使いのパソコンのCD-ROMドライブに挿入してください。しばらくすると以下の画面が自動的に立ちあがります(※注1)。内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。

※注1
CD-ROMを挿入しても自動的に立ちあがらない場合
①「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」の順にダブルクリックしてください。
② CD-ROMをダブルクリックし、出てきた項目をクリックし「プロパティ」をクリックします。
③「設定」をクリックし、「オプション」の中の「挿入の自動通知」にチェックを入れ、「OK」をクリックしてください。



② 他のアプリケーションを終了して「インストール」をクリックしてください。



③ MT128S-D/Rのご使用方法に合わせ、使用方法を選択し、「次へ」をクリックしてください。

電話、またはFAX機のみで使用する方 ⇒ ◎電話の通話に使用する
⑤以降をご覧ください。

インターネットに使用する方
電話(FAX機)またはインターネットの両方を使用する方 ⇒ ◎インターネットに使用する
または
◎電話の通話とインターネットに使用する
④以降をご覧ください。



④ プロバイダとの通信速度を選択し、「次へ」をクリックしてください。



⑤「RS-232C」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



■設定用のファイルのインストール

※ 以下の画面が表示されたときは、他のアプリケーションソフトを終了させ、付属のRS-232Cケーブルで MT128S-D/Rとパソコンを接続してください（P8参照)。



⑥ 以下の画面が表示されたら MT128S-D/R のインストールは完了です。「OK」をクリックしてください。

※ しばらく経っても以下の画面が現れない場合、インストールに失敗している可能性があります。キーボードのctrlとAltとDelのキーを同時に押し、一旦インストーラを終了させてください。



⑦「次へ」をクリックしてください。



■簡単設定ユーティリティのインストール

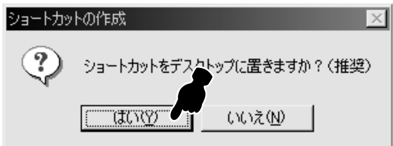
⑧ 簡単設定ユーティリティをインストールする場所を選択してください。特に指定しない場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。



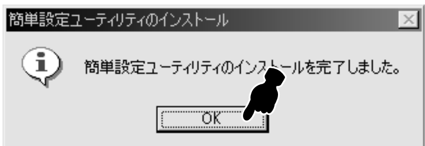
⑨「はい」をクリックしてください。



⑩「はい」をクリックします。デスクトップの画面上に「MT128簡単設定ユーティリティ」のショートカットが表示されます。



⑪「OK」をクリックします。



■MT128Sの設定

⑫ 「次へ」をクリックします。



⑬ MT128S-D/Rに電話番号の設定をします。契約者回線番号(電話番号)を入力し、ダイヤルインサービス、i·ナンバーサービスに契約している場合は、それぞれにチェックをし、「次へ」をクリックしてください。
(ここでの電話番号は一例です。)



⑭ 着信するアナログポートにチェックをし、「設定」をクリックしてください。また、ダイヤルインサービス、i·ナンバーサービスに契約している場合は、ダイヤルイン番号、もしくは追加番号を入力し、それぞれの番号が着信するアナログポートにチェックをしてください。

契約者回線番号のみ(番号1つのみ)



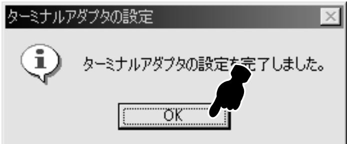
ダイヤルインサービス



iナンバー



⑮ 「OK」をクリックします。



※ 電話(FAX)の設定のみの場合は、この後に㉒の画面が表示されます。

■インターネット接続の設定

⑯ プロバイダに加入している方は「設定する」、まだ加入されていない方は、「設定しない」をクリックしてください。



⑰ インターネットに使用する際に必要なダイヤルアップネットワークの設定をします。ダイヤルアップネットワークの名前を入力し(ここでは「OMRON」)、「次へ」をクリックしてください。また、プロバイダにまだ加入していない場合は、加入後に設定してください。



⑱ プロバイダからの情報を参考にして、ユーザ名、パスワード、アクセスポイントの電話番号を入力し、「設定」をクリックしてください。

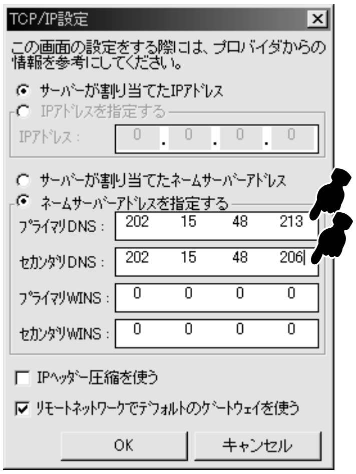


⑲ プロバイダによっては、サーバの種類を設定する必要があります。設定する場合は「設定する」をクリックしてください。

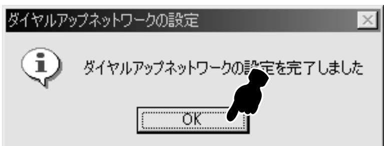


⑳ プロバイダからの情報を参考にして、サーバーの種類、TCP/IPの設定をしてください。設定が完了したら、「設定」をクリックしてください。





㉑ 「OK」をクリックしてください。



㉒ 以上で設定は完了です。「OK」をクリックしてください。より細かい設定をする場合は、簡単設定ユーティリティを使用し、設定を行ってください。



㉓ ②の画面になりますので、「終了」をクリックしてください。

■追加の設定

すでにパソコンにMT128S-D/Rをインストールしている時、簡単設定ユーティリティのインストール、ダイヤルアップネットワークの設定を個別に行うことができます。

① 「追加の設定」をクリックしてください。



② 追加の設定をしたい内容にチェックをし、「次へ」をクリックしてください。



③ それぞれの細かい設定方法については、それぞれ、以下の項目を参照してください。

●簡単設定ユーティリティのインストール

⇒STEP1の「■簡単設定ユーティリティのインストール」P10参照

●ダイヤルアップネットワークの設定

⇒STEP1の「■インターネット接続の設定」P12参照

■アンインストール

MT128S-D/Rや簡単設定ユーティリティをパソコンからアンインストールを以下の手順で行うことができます。

① 「アンインストール」をクリックしてください。



② アンインストールしたいものにチェックをし、「次へ」をクリックしてください。



③ 「OK」をクリックしてください。



④ 「OK」をクリックしてください。



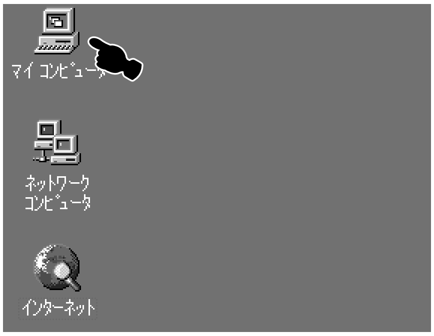
■ドライバを手動でインストールする

★自動インストールできない場合は手動でインストールします。

1 ドライブを確認する

まず、設定に入る前にお手持ちのパソコンのドライブを確認します。次の操作手順に従って確認してください。

① デスクトップ画面のマイコンピュータをダブルクリックしてください。



② マイコンピュータ画面が表示されたら、その中に表示されているアイコンを見て判断します。



……… フロッピーディスクドライブ
➡ この場合はドライブAとなります。

……… ハードディスクドライブ
➡ この場合はドライブCとなります。

……… CD-ROM ドライブ
➡ この場合はドライブDとなります。



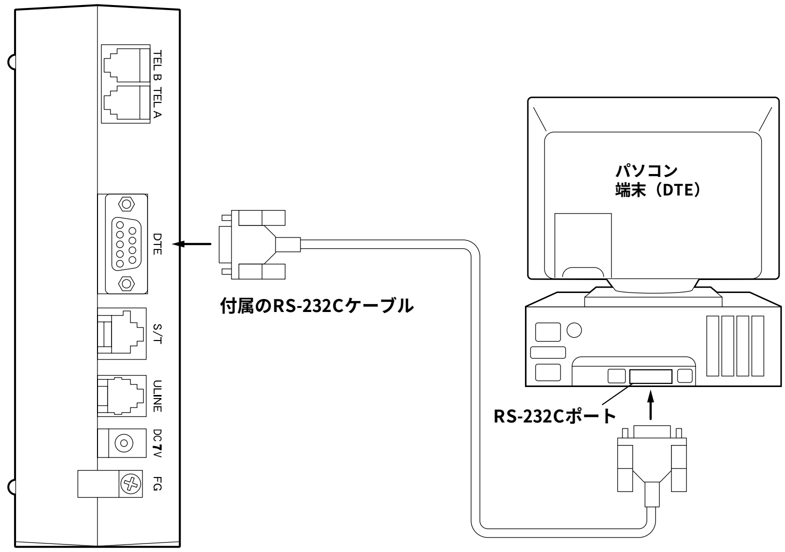
フロッピーディスクドライブ	3.5 インチ FD (A:)	例：A	
ハードディスクドライブ	(C:)	例：C	
CD-ROM ドライブ	(D:)	例：D	

⬆

この内容はP17「モデム設定ファイルを組込む」の際、必要になりますので、確認できましたら、上の表へ 必ず 記入してください。

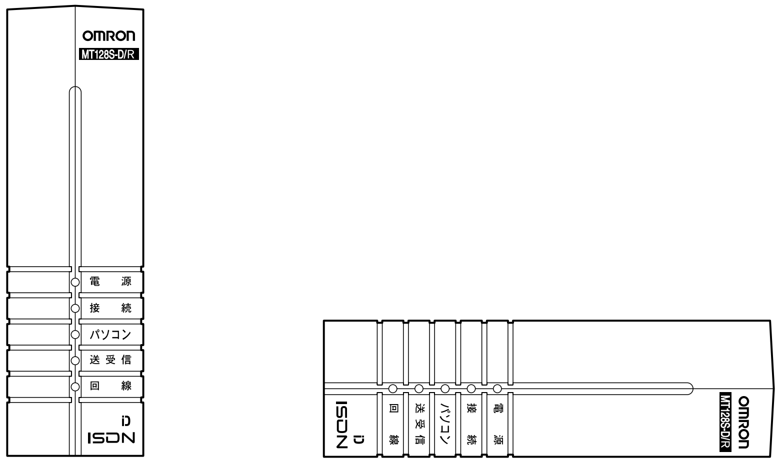
2 パソコンとの接続

P7「STEP2　ISDN 回線と電話機を接続しましょう」の接続が終わっていることをご確認ください。



■設置

本装置は縦置きも横置きも可能です。
設置されるスペースに応じて、置き方を変えてください。



縦置き　　横置き

留意事項
●本体取扱説明書 P17 の「■接続時の注意点」もご一読ください。

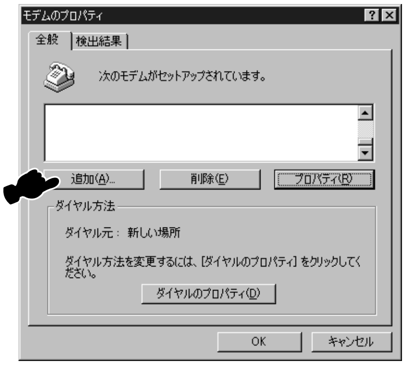
3 モデム設定ファイルを組込む

上記に続いて、モデム設定ファイルをインストールします。本製品に付属のCD-ROMがお使いのパソコンのCD-ROMドライブに入っていることを確認してください。

① **デスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックして「モデム」をダブルクリックしてください。**



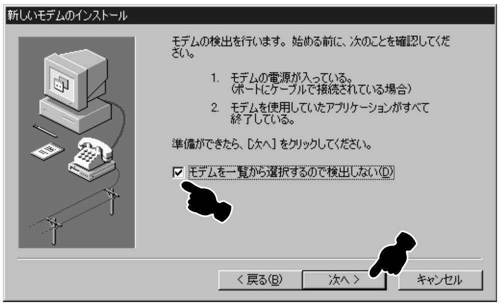
② **「追加」をクリックしてください。**



画面が異なる場合は、画面の指示に従って「次へ」をクリックし、お進みください。またノートパソコンを使用されている場合は、以下の画面が表示されましたら「その他」をチェックして「次へ」をクリックしてください。



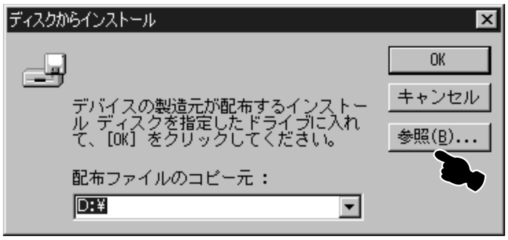
③ **「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。**



④ **「ディスク使用」をクリックしてください。**

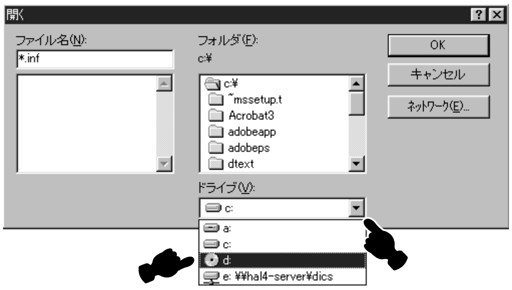


⑤ **「参照」をクリックしてください。**



⑥ **「ドライブ」欄からCD-ROMドライブ(この例ではCD-ROMドライブがDのときです。お使いのパソコンによって異なります)を選んでください。**

※ ドライブの確認方法は本冊子P15「■ドライブの確認」をご覧ください。



お客様のCD-ROMドライブを選択してください。

ここをクリック

セットアップする

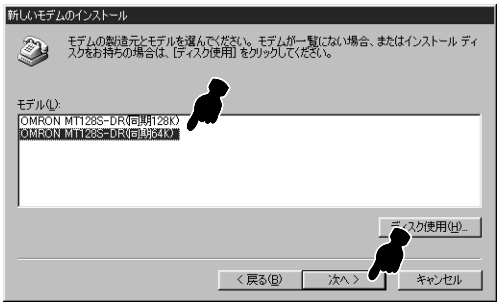
⑦ 「フォルダ」欄の「Win」→「Driver」の順にダブルクリックし、「ファイル名」に「Mt128sdv.inf」が表示されている事を確認してください。
確認したら「OK」をクリックしてください。



⑧ 「OK」をクリックしてください。



⑨ 「OMRON MT128S-DR(同期 64K)」を選択して、「次へ」をクリックしてください。同期 128k で使用したい場合は「OMRON MT128S-DR(同期128K)」を選択してください。



⑩ 「モデムを接続するポート」欄から、MT128S-D/R を接続しているポートを選択して、「次へ」をクリックしてください。



パソコンと MT128S-D/R を接続した COM ポートを選択します。

⑪ 「完了」をクリックしてください。



4 インストールの確認

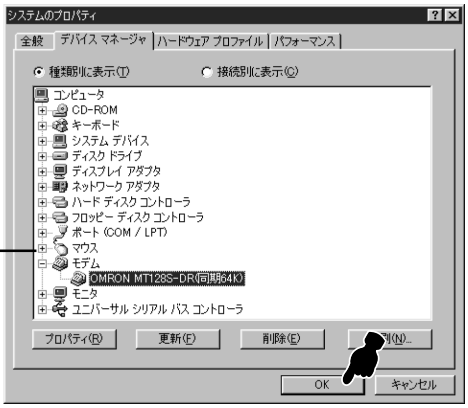
すべてのドライバが正常にインストールされたかどうかを確認します。

① 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。

② 「システム」をダブルクリックしてください。



③ 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。下図のように、「モデム」の下に「OMRON MT128S-DR（同期 64k)」が表示されていればインストールは完了です。挿入したCD-ROMは抜いて、大切に保管しておいてください。



⊞をクリック

正しく表示されない場合

「ⓘ OMRON....」または「？その他のデバイス」、「◇不明なデバイス」と表示された場合は、選択して削除してください。
その後、本冊子P50を参照し、ドライバをアンインストールし、3-①から再インストールしてください。
⇒正常にインストールできない場合は本冊子 P45の「チェック表による確認」をご参照ください。

④ 「OK」をクリックしてください。

STEP2　インターネットへ接続しましょう

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとしてインターネットエクスプローラ4.0（以下IE4.0）を使用します。

① 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。「OMRON」アイコンが表示されます。

② 「OMRON」アイコンをダブルクリックしてください。「接続」が表示されますので、「ユーザー名（プロバイダから通知されたユーザID）」と「パスワード」を入力します。（このとき大文字、小文字などを間違えずに入力してください。）入力を確認したら「接続」をクリックしてください。すると、接続が開始されます。
接続ができない場合は本冊子 P45「●お困りのときには」をご参照ください。



接続スピードが 64000bps にならない
⇒ P46 参照

エラーメッセージが表示される
⇒「●お困りの時には」参照

『コンピュータはモデムからの応答を受信しません。モデムが正しく装着されているか確認し、～』⇒チェック２

『発信音が聞えません。モデムが電話回線に正常に装着されているか確認してください。』⇒チェック３

『回線が使用中です。しばらくしてから、やり直してみてください。』⇒チェック４

『ダイヤル先のコンピュータが応答しません。しばらくしてからやり直してみてください。』⇒チェック５

『ダイヤル先のコンピュータはダイヤルアップネットワークを確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください。』⇒チェック６

まめ知識

「パスワードを保存する」をチェックすると、再接続の際、パスワードを入力する手間がなくなります。

③ プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ画面にある IE4.0 アイコンをダブルクリックしてください。IE4.0 が起動します。

留意事項

●WWWブラウザソフトの操作は、ソフトの取扱説明書などを参照してください。

インターネットエクスプローラのアドレス欄に「http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html」と入力してください。
オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。

④ IE4.0 の終了
「ファイル」の中から「閉じる」を選択してください。IE4.0 が終了します。

⑤ プロバイダへの接続を切断します。デスクトップ右下にあるタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコン をダブルクリックしてください。「接続」画面が表示されます。

⑥ 「接続」画面の「切断」をクリックしてください。「XXXX への切断を終了しますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
プロバイダへの接続が切断されます。
ここで、「切断」を押して切断処理を行わないと、回線は接続されたままになります。必ず切断を押してください。

◎モデム設定ファイルを変更する

既に登録されているモデム設定ファイルとは異なる速度の設定ファイルを登録する場合は、「3 モデム設定ファイルを組込む」の手順を、再度行ってください。

その際に、項目⑨で新しく登録したい設定ファイルを選択してください。

●セットアップする …… Windows NT4.0

◇STEP１　パソコンを接続しましょう

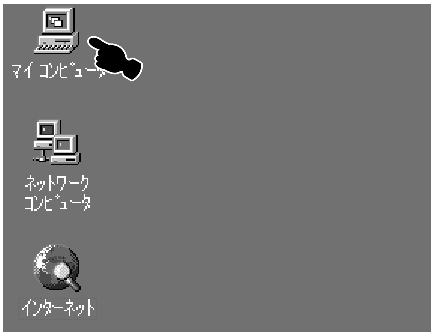
留意事項

●本手順書の内容は一例です。詳細は、ソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。
●インターネットに接続するには「ダイヤルアップネットワーク」、「TCP/IP」をインストールする必要があります。場合によっては、お手持ちのWindows NT4.0のCD-ROMが必要になりますので、ご準備ください。すでにインストールされている場合は、「ダイヤルアップネットワーク」、「TCP/IP」をインストールを行う必要はありません。

1 ドライブの確認

まず、設定に入る前にお手持ちのパソコンのドライブを確認します。次の操作手順に従って確認してください。

① デスクトップ画面のマイコンピュータをダブルクリックしてください。



② マイコンピュータ画面が表示されたら、その中に表示されているアイコンを見て判断します。



……… フロッピーディスクドライブ
➡ この場合はドライブAとなります。



……… ハードディスクドライブ
➡ この場合はドライブCとなります。



……… CD-ROM ドライブ
➡ この場合はドライブDとなります。



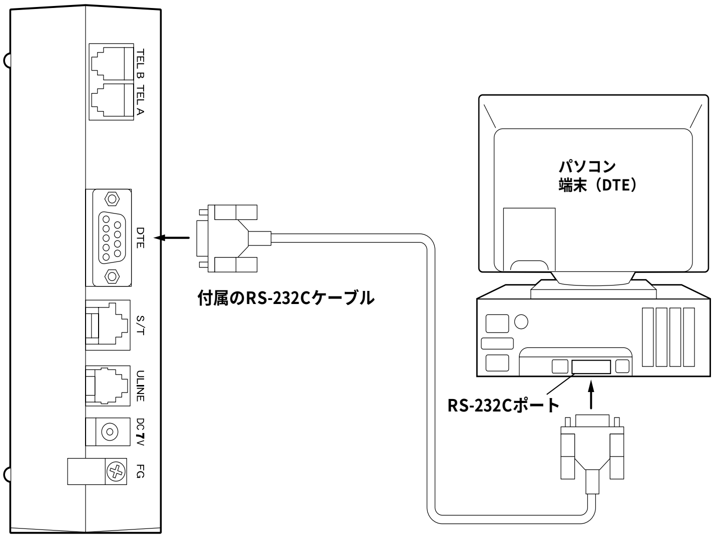
フロッピーディスクドライブ		例：A	
ハードディスクドライブ		例：C	
CD-ROM ドライブ		例：D	

⬆

この内容はP23「モデム設定ファイルを組込む」の際、必要になりますので、確認できましたら、上の表へ必ず記入してください。

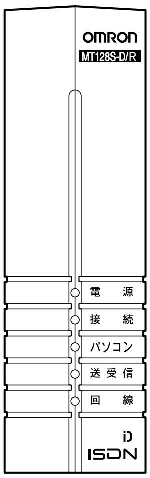
2 パソコンとの接続

P7「STEP2　ISDN回線と電話機を接続しましょう」の接続が終わっていることをご確認ください。

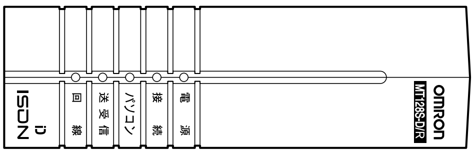


■設置

本装置は縦置きも横置きも可能です。
設置されるスペースに応じて、置き方を変えてください。



縦置き



横置き

留意事項

●本体取扱説明書 P17の「■接続時の注意点」もご一読ください。

3 モデム設定ファイルを組込む

付属のCD-ROMを使って、モデム設定ファイルをパソコンに組込み、MT128S-D/Rを認識させる必要があります。
WindowsNTはシリアルポート1つに対して、1つの通信機器しか接続できません。本製品を接続するポートにモデム等がインストールされている場合は削除してください。

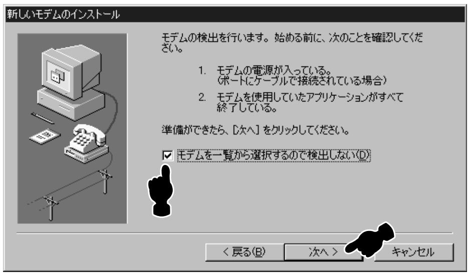
① **MT128S-D/Rとパソコンの電源をONし、「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。「コントロールパネル」が表示されます。**

② **「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。「モデムのプロパティ」画面が表示されます。**



参照
モデムがインストールされていなければ、「モデムのプロパティ」画面が表示されず、「新しいモデムのインストール」画面が開きます。そのときは、手順③の「新しいモデムのインストール」をご覧ください。

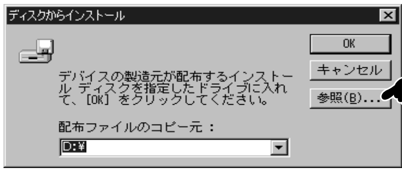
③ **「追加」をクリックすると、「新しいモデムのインストール」画面が表示されます。「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックし、「次へ」をクリックしてください。**



④ **「新しいモデムのインストール」画面が表示されますので、「ディスク使用」をクリックしてください。**



⑤ **「フロッピーディスクからのインストール」画面が表示されますので、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「参照」をクリックしてください。**



⑥ **「ファイルを見つけます」画面が表示されますので、ファイルの場所を「CD-ROMドライブ」(この例ではドライブD)を選択してください。**
「Win」→「Driver」→「nt40_w95」の順にダブルクリックし、「ファイル名」に「mt128sdv.inf」と表示されたら「開く」をクリックしてください。
＊ドライブの確認方法は本手順書の「1　ドライブの確認」をご覧ください。

⑦ **「フロッピーディスクからインストール」画面に戻りますので「配布ファイルのコピー元」に「D:¥Win¥Driver¥nt40_w95」を確認し、「OK」をクリックしてください。**

⑧ **「新しいモデムのインストール」画面が表示されましたら「モデル」欄から通信モードを選択し、「次へ」をクリックしてください。**

OMRON MT128S-DR(同期 128K)
OMRON MT128S-DR(同期　64K)

↑

機種名はプロバイダの接続方式と同じものを選択してください。



⑨ 「どのポートにインストールしますか」より、「選択したポート」にチェックし、MT128S-D/Rを接続している通信ポートを選択して、「次へ」をクリックしてください。その後、「完了」をクリックしてください。



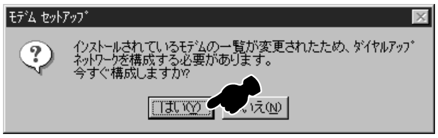
参照

「再起動する必要がありますので…」というメッセージが表示されましたら、「OK」をクリックしてください。

⑩ 「モデムのプロパティ」で⑧で選択したものが表示されていることを確認してください



⑪ 「モデムのプロパティ」画面の中の「閉じる」をクリックし、「モデムセットアップ」画面が表示されましたら、「はい」をクリックしてください。



⑫ 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」を順にクリックし、「サービス」タブをクリックしてください。ネットワークサービスの中のリモートアクセスサービスを選択し、プロパティをクリックしてください。

⑬ 続いて、表示された「リモートアクセスセットアップ」で、MT128S-D/Rを接続するポートに他のデバイスが表示された場合は「削除」をクリックして削除しておいてください。

⑭ 「追加」をクリックし、ポート欄の中を設定します。手順⑧で選択したモデム設定ファイルを選択して「OK」をクリックしてください。



⑮ 「ネットワーク」をクリックし、「ダイヤルアウトプロトコル」または「サーバの設定」の「TCP/IP」のみにチェックし、「OK」をクリックしてください。



⑯ 「続行」をクリックしてください。
続いて、「Microsoft TCP/IPのプロパティ」画面が表示されることがあります。表示された場合は「OK」をクリックしてください。「ネットワーク設定の変更」画面が表示されましたら、「はい」をクリックし、Windows NT4.0を再起動してください。

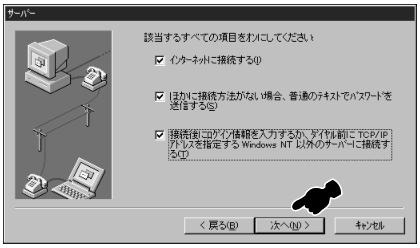
以上で、モデム設定ファイルの組込みが完了しました。

4 ダイヤルアップネットワークを設定する

①「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。「新しい電話帳のエントリウィザード」画面が表示されましたら、契約したプロバイダ等の名前を入力し、「次へ」をクリックしてください。

参照
今までに接続先を設定されていた場合は、「ダイヤルアップネットワーク」画面が開きますので「新規」をクリックしてください。また、設定によっては「新しい電話帳のエントリーウィザード」画面が表示されません。OSのユーザ設定を変更してください。

② 「サーバー」画面が表示されましたら、すべての項目にチェックし、「次へ」をクリックしてください。



③ 「モデムまたはアダプタ」画面が表示されます。「OMRON MT128S-DR(同期xxK)」を選び、「次へ」をクリックしてください。

④ 「電話番号」画面が表示されましたら、契約したプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。

⑤ 「シリアル回線プロトコル」画面が表示されましたら、◉ポイントツーポイントプロトコル(PPP)(P)へチェックし、「次へ」をクリックしてください。

⑥ 「ログイン スクリプト」画面が表示されましたら、◉なしにチェックし、「次へ」をクリックしてください。

⑦ 「IPアドレス」画面が表示されましたら、必要に応じてIPアドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。

⑧ 「ネームサーバーアドレス」画面が表示されましたらプロバイダより通知されたDNSサーバーのIPアドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。

⑨ 「新しい電話帳のエントリウィザード」画面が表示されましたら、「完了」をクリックしてください。

⑩ 「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。画面を確認し、「閉じる」をクリックしてください。

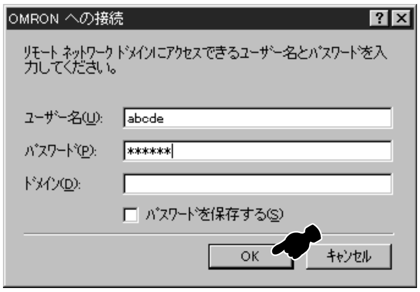
以上で、ダイヤルアップネットワークの設定が完了しました。

◇STEP2　インターネットへ接続しましょう

① 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックし、「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されますので、「ダイヤル」をクリックします。



② 「ユーザ名」と「パスワード」を入力してください。（このとき大文字、小文字などを間違えずに入力してください。）入力を確認したら、「ＯＫ」をクリックしてください。すると接続先に発信します。



③ 接続されましたら、ＷＷＷブラウザソフトを起動してください。ＵＲＬアドレスを指定したり、ハイパーリンクを使用して、いろいろなホームページにアクセスすることができます。

留意事項

●ＷＷＷブラウザソフトの操作方法は、ソフトの取扱説明書等をご参照ください。

④ 回線を切断するときは、「コントロールパネル」の中の「ダイヤルアップモニタ」をダブルクリックし、「切断」をクリックしてください。

●セットアップをする... Mac OS 8.5以上

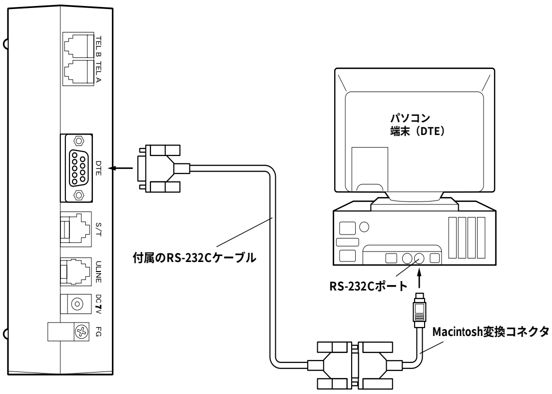
◇STEP1 パソコンと接続しましょう

留意事項

- **●本手順書の内容は一例です。詳細は、ソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。**
- **●接続ソフトはWWWブラウザソフトと「リモートアクセス」,「TCP/IP」を使用します。「リモートアクセス」はMac OS 8.5以上に標準装備されています。**
- **●添付のMac PPPはMac OS 8.5以上では使用できませんのでインストールしないでください。**

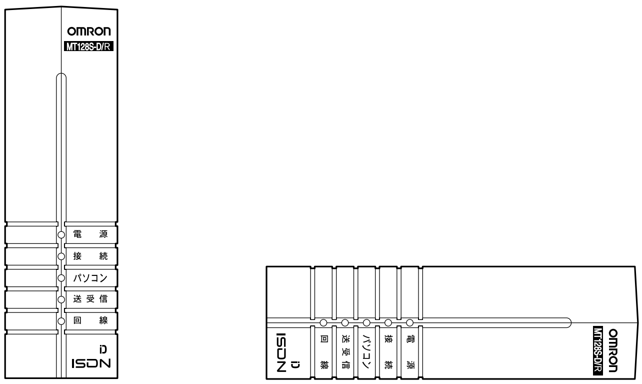
1 パソコンとの接続

パソコンの電源をOFFの状態で、パソコンのRS-232Cポートと、本装置のRS-232Cコネクタを付属のRS-232CケーブルとMacintosh変換コネクタで接続した後、パソコンの電源をONしてください。（P7の接続が終っていることをご確認ください。）



■ 設置

本装置は縦置きも横置きも可能です。
設置されるスペースに応じて、置き方を変えてください。



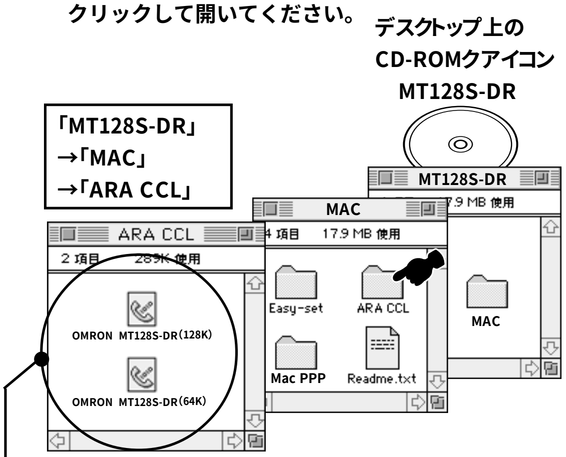
縦置き　　横置き

留意事項

- **●本体取扱説明書 P17の「■接続時の注意点」もご一読ください。**

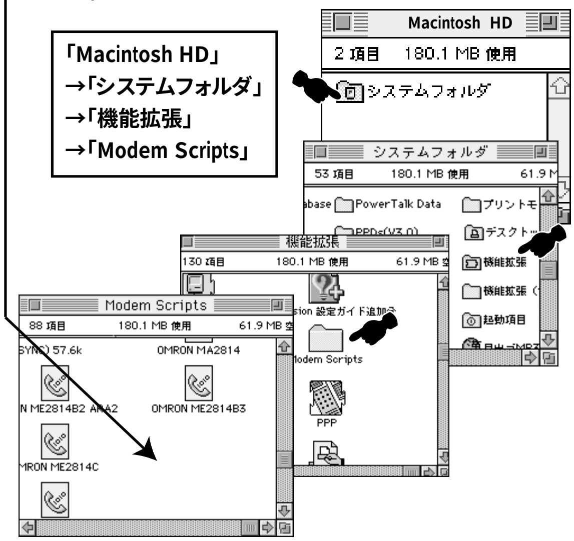
2 CCLファイルの組み込みをする

① 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、デスクトップの「CD-ROMアイコン」をダブルクリックし、その中の各フォルダを次の順番でダブルクリックして開いてください。



同期 64K用CCLファイル
.................OMRON MT128S-DR(64K)
同期128K用CCLファイル
.................OMRON MT128S-DR(128K)

② 「ARA CCL」フォルダの中にある「CCL」ファイルをすべて「システムフォルダ」の中の「機能拡張」フォルダの中にある「Modem Scripts」フォルダにコピーしてください。
コピーが終了したら、CD-ROMを取り出してください。



◇STEP2　インターネットの接続設定をしましょう

■インターネット接続手順

1 リモートアクセスを設定する

① のプルダウンメニューから「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。

② 「リモートアクセス」画面の各項目を設定してください。

- 「登録利用者」をチェック
- 名前、パスワードを入力
（プロバイダより通知されたユーザ ID, パスワード）
- 「パスワード保存」をチェック
- 電話番号⇨アクセスポイントの電話番号を入力



設定が完了しましたら、「オプション」をクリックしてください。

③ 「再ダイアル」タブの各項目を設定し、完了しましたら「接続」タブをクリックしてください。



④ 各項目を設定してください。

- 「接続中はメニューバーのアイコンを点滅させる」にチェック
- 「操作しないまま [10] 分間が過ぎたら接続を切る」にチェック
[　　] 内には 10 または 15 などの数値を入力ください。(0は入力しないようにしてください。)
入力完了後「プロトコル」タブをクリックしてください。



⑤ 各項目を設定してください。

- 使用プロトコル:PPP に設定
- 「モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う」
・・・プロバイダから通知された設定
- 「TCP ヘッダ圧縮を使う」
・・・プロバイダから通知された設定

設定完了後「OK」をクリックしてください。「リモートアクセス」画面に戻ります。



まめ知識

「TCP/IP 利用アプリケーション起動時に自動接続する」にチェックを入れると、WWW ブラウザやメールソフトを起動すると自動接続します。

MAC編

MAC編

2 「モデム」を設定する

① 「リモートアクセス」を開いたまま、デスクトップメニューバーの「リモートアクセス」→「モデム」を選択してください。



② 「モデム」画面が表示されましたら、以下の項目を設定してください。

- 経由先 .... 本製品を接続したポートを選択
  「モデムポート」または「プリンタポート」
- モデム .... 接続アクセスポイントにより選択
  「OMRON MT128S-DR（64K）」
  「OMRON MT128S-DR（128K）」
- ダイヤル ... トーンをチェック

設定完了後 ■ボタン Ⓐ をクリックしてください。

Ⓐ



③ 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」画面が表示されましたら、「保存」をクリックしてください。
「リモートアクセス」画面に戻ります。

3 TCP/IP を設定する

① 「リモートアクセス」を開いたままデスクトップメニューバーの「リモートアクセス」→「TCP/IP」を選択してください。

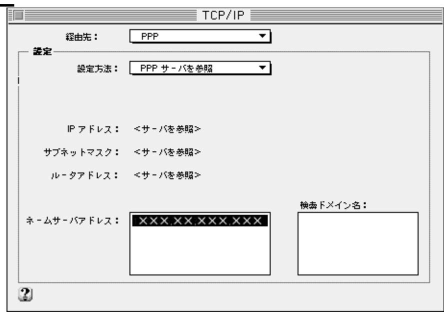


② 「TCP/IP」を設定します。

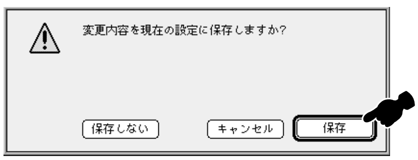
- 経由先 ....「PPP」を選択
- 設定方法 ....「PPP サーバを参照」を選択
- ネームサーバアドレス
  .... プロバイダから通知されたドメイ
  .... ンネームサーバアドレス（DNS）

設定完了後 ■ボタン Ⓐ をクリックしてください。

Ⓐ



③ 「保存」をクリックしてください。
「リモートアクセス」画面に戻ります。



◇STEP3　インターネットへ接続しましょう

1　インターネットへ接続する

STEP1～2までの設定が完了しました。パソコンを再起動してください。設定内容が有効になります。

① （アップルメニュー）→「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。「接続」をクリックすると接続が始まります。



② 以下のような画面が表示されましたら接続は完了です。



③ WWWブラウザソフトを起動してください。
URLアドレスを指定したり、ハイパーリンクを使用して、いろいろなホームページにアクセスすることができます。



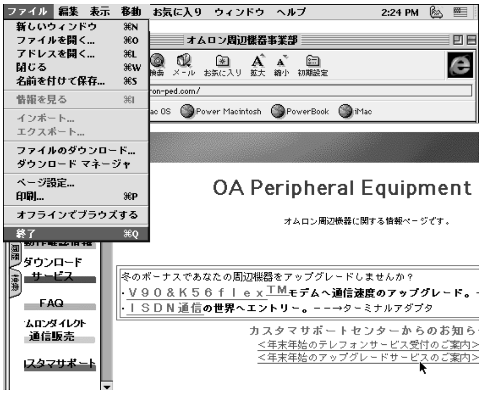
留意事項

- ●インターネットへ接続を行う前にMT128S-D/Rを「ER信号常時ON」の設定にしてください。設定方法は、簡単設定ユーティリティを起動し（本体取扱説明書P58を参照）、「データポート」→「ER信号制御」の中で「常時ONとみなす」にチェックを入れ、「設定」をクリックして完了です。
  ただし、ER信号を常時ONに設定したときは、まれに、通信を終了した後でも電話回線が継ながったままの状態になり、電話料金が課金されることがあります。
  そのため、通信を終了したときは、必ずMT128S-D/R前面の「接続」ランプが消えていることを確認してください。万一、「接続」ランプがついていたときは、MT128S-D/Rの電源を切/入してください。
- ●「アップルメニュー」→「セレクタ」内、「アップルトーク」を不使用に設定してください。
- ●本手順書の内容は一例です。詳細はソフトメーカー、パソコンメーカー、プロバイダ等にお問い合わせください。

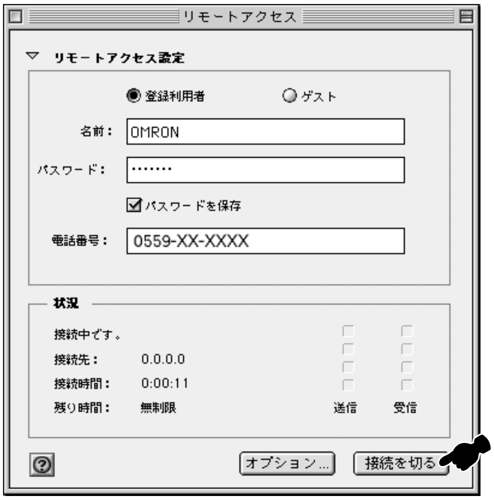
MAC編

2 インターネット接続を終了する

① WWW ブラウザソフトを終了します。
「ファイル」→「終了」をクリックしてください。



② アクセスポイントへの接続を終了します。
「リモートアクセス」の画面で「接続を切る」をクリックしてください。



留意事項

●WWWブラウザソフトを終了しても、アクセスポイントへの接続は切断されません。必ずコントロールパネルの「リモートアクセス」を開き「接続を切る」をクリックして、アクセスポイントへの接続を切断してください。

※インターネットに接続できないときは、「●お困りのときには」を参考に設定をご確認ください。

●セットアップをする... Mac OS 7.6以上

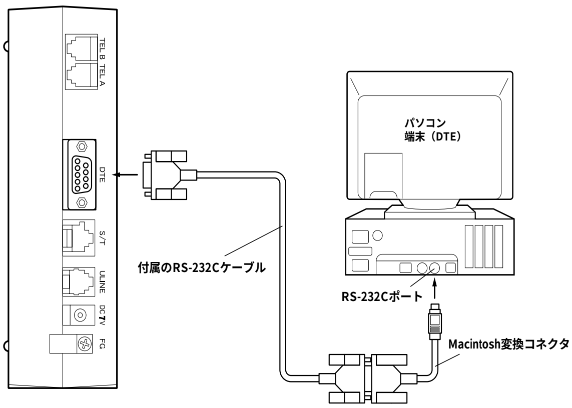
◇STEP1　パソコンと接続しましょう

留意事項

●本手順書の内容は一例です。詳細は、ソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。
●接続ソフトは WWW ブラウザソフトと「Open Transport PPP」,「TCP/IP」を使用します。「Open Transport PPP」,「TCP/IP」は Mac OS 7.6 以上に標準装備されています。

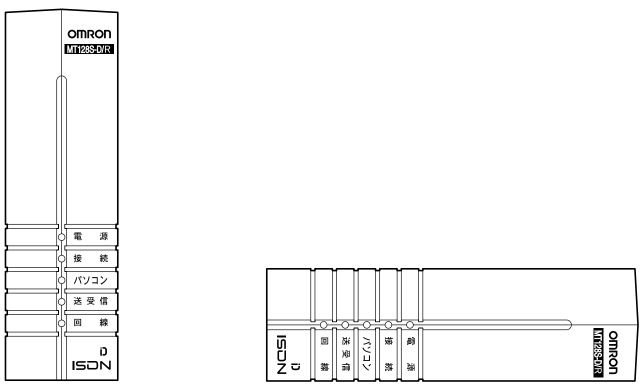
1　パソコンとの接続

パソコンの電源をOFFの状態で、パソコンのRS232-Cポートと、本装置のRS232-Cコネクタを付属のRS232-Cケーブルと Macintosh 変換コネクタで接続した後、パソコンの電源を ON してください。（P7 の接続が終っていることをご確認ください。）



■ 設置

本装置は縦置きも横置きも可能です。
設置されるスペースに応じて、置き方を変えてください。



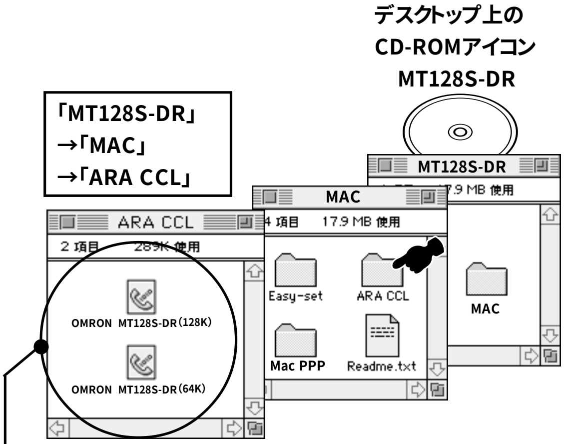
縦置き　　横置き

留意事項

●本体取扱説明書 P17 の「■接続時の注意点」もご一読ください。

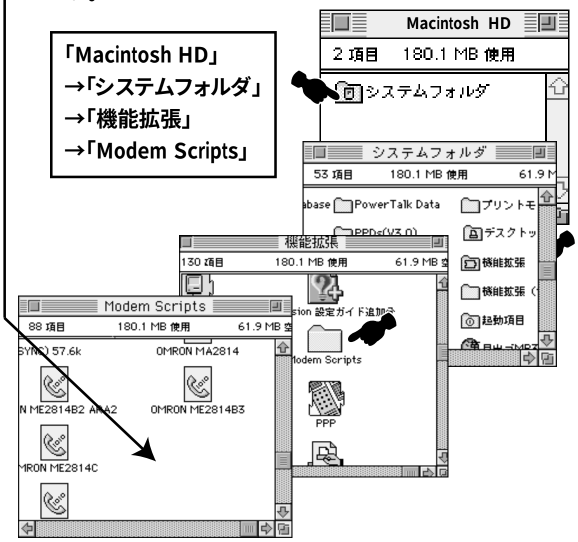
2 CCLファイルの組み込みをする

① 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、デスクトップの「CD-ROM アイコン」をダブルクリックし、その中の各フォルダを次の順番でダブルクリックして開いてください。



同期 64K用CCLファイル
.... OMRON MT128S-DR(64K)
同期128K用CCLファイル
.... OMRON MT128S-DR(128K)

② 「ARA CCL」フォルダの中にある「CCL」ファイルをすべて「システムフォルダ」の中の「機能拡張」フォルダの中にある「Modem Scripts」フォルダにコピーしてください。
コピーが終了したら、CD-ROMを取り出してください。



◇STEP2　インターネットの接続設定をしましょう

■インターネット接続手順

1 Open Transport PPPを設定する

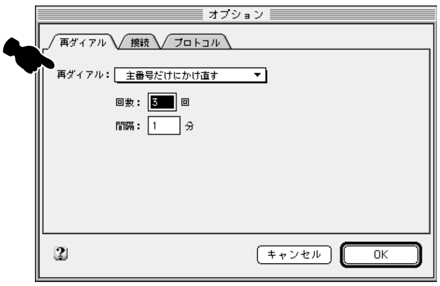
① 「PPP」を設定する。
　 のプルダウンメニューから「コントロールパネル」→「PPP」を選択してください。

②「PPP」画面の各項目を設定してください。
- 「登録利用者」をチェック
- ユーザID、パスワードを入力してください（プロバイダより通知されたアカウント）
- 「パスワード保存」をチェック
- 電話番号⇨アクセスポイントの電話番号を入力



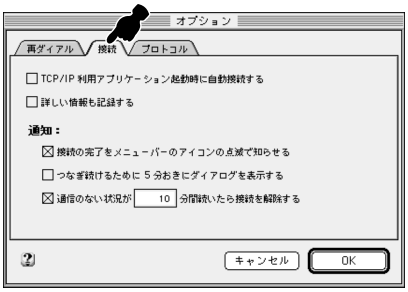
設定が完了したら、「オプション」をクリックしてください。

③ 「オプション」画面が表示されましたら、「再ダイアル」タブの各項目を設定し、完了したら「接続」タブをクリックしてください。



④ 「接続」タブが表示されましたら、各項目を設定してください。
- 「接続の完了をメニューバーのアイコンの点滅で知らせる」にチェック
- 「通信のない状況が 10 分間続いたら接続を解除する」にチェック　　内は10または15などの数値を入力ください。

入力完了後「プロトコル」タブをクリックしてください。



まめ知識

● 「TCP/IP 利用アプリケーション起動時に自動接続する」にチェックを入れると、WWW ブラウザやメールソフトを起動すると自動接続します。

⑤ 「プロトコル」タブが表示されましたら、各項目を設定してください。
- 「モデム内蔵エラー訂正と圧縮を使う」
　・・・プロバイダから通知された設定
- 「TCPヘッダ圧縮を使う」
　・・・プロバイダから通知された設定

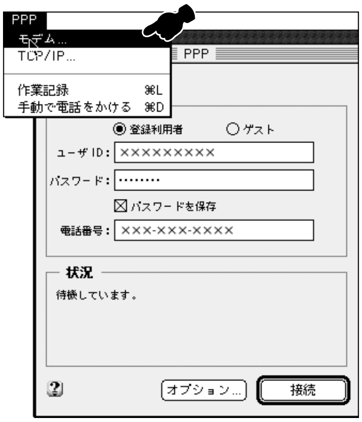
設定完了後「OK」をクリックしてください。
「PPP」画面に戻ります。



MAC編

2 「モデム」を設定する

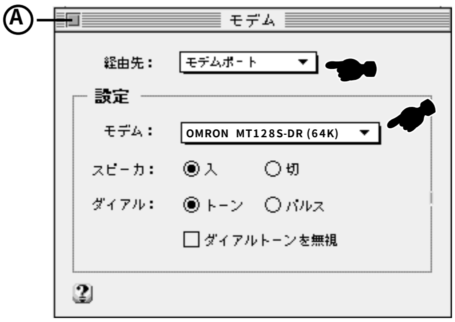
① 「PPP」画面を開いたまま、デスクトップメニューバーの「PPP」→「モデム」を選択してください。



② 「モデム」画面が表示されましたら、以下の項目を設定してください。

- 経由先 ..... 本製品を接続したポートを選択 「モデムポート」または「プリンタポート」
- モデム ... 接続アクセスポイントにより選択 「OMRON MT128S-DR(64K)」または「OMRON MT128S-DR(128K)」
- ダイヤル .. 「トーン」をチェック

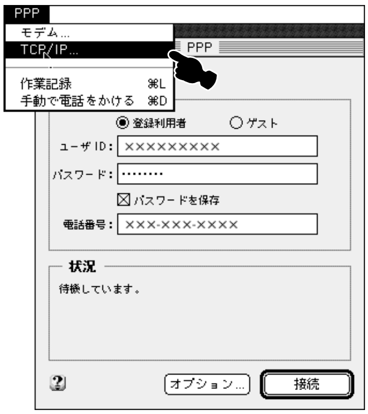
設定完了後 ■ボタン Ⓐ をクリックしてください。



③ 「変更内容を現在の設定に保存しますか?」と表示されますので「保存」をクリックしてください。
「PPP」画面に戻ります。

3 TCP/IPを設定する

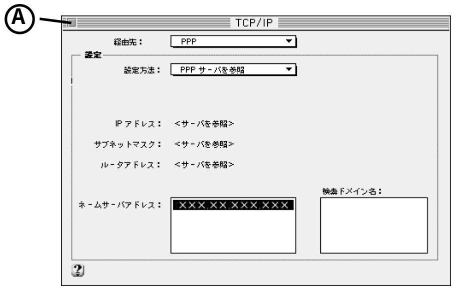
① 「PPP」を開いたままデスクトップメニューバーの「PPP」→「TCP/IP」を選択してください。



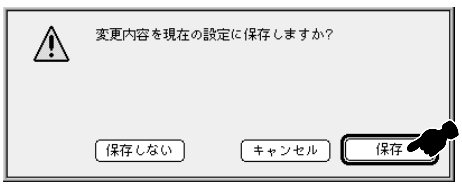
② 「TCP/IP」を設定します。

- 経由先 .... 「PPP」を選択
- 設定方法 ...... 「PPPサーバを参照」を選択
- ネームサーバアドレス
  .... プロバイダから通知されたドメインネームサーバアドレス(DNS)

設定完了後 ■ボタン Ⓐ をクリックしてください。



③ 「変更内容を現在の設定に保存しますか?」画面が表示されましたら、「保存」をクリックしてください。
「PPP」画面に戻ります。



◇STEP3　インターネットへ接続しましょう

1　インターネットへ接続する

STEP1～2までの設定が完了しました。パソコンを再起動してください。設定内容が有効になります。

① （アップルメニュー）→「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。「接続」をクリックすると接続が始まります。

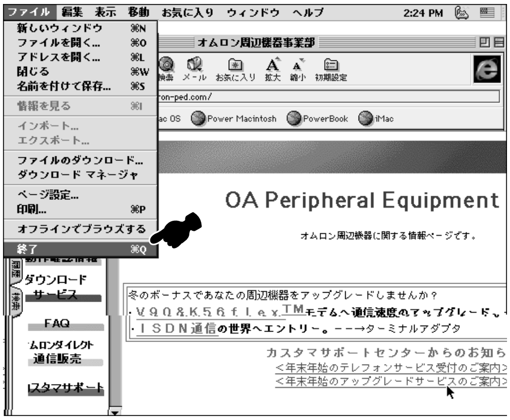


② 以下のような画面が表示されましたら接続は完了です。



2　インターネット接続を終了する

① WWWブラウザソフトを終了する。「ファイル」→「終了」をクリックしてください。



② アクセスポイントへの接続を終了する。

→「コントロールパネル」→「PPP」を選択し「解除」をクリックしてください。



留意事項

●WWWブラウザソフトを終了しても、アクセスポイントへの接続は切断されません。必ずコントロールパネルの「PPP」を開き「解除」をクリックして、アクセスポイントへの接続を切断してください。

※ インターネットに接続できないときは「●お困りのときには」を参考に設定をご確認ください。

MAC編

●セットアップをする... Mac OS 7.5以上

接続ソフトは漢字Talkのバージョンにより異なります。
●「TCP/IP」.......... 漢字Talk7.5.2以上に標準装備されています。
●「Mac TCP」....... 漢字Talk7.5以上に標準装備されています。
●「Free PPP」....... フリーウェアです。お客様の方で準備してください。
●「Mac PPP」....... 添付CD-ROMに入っています。(Config PPP)

	漢字 Talk7.5.2 以上	漢字 Talk7.5 以上
TCP/IP ソフトウェア	TCP/IP ➡ 手順 1	Mac TCP ➡ 手順 2
PPP モジュール	Free PPP ➡ 手順 3+5 または Mac PPP ➡ 手順 4+6	

●Free PPPをご使用の方は　手順1または2 ➡ 手順3 ➡手順5
●Mac PPPをご使用の方は　手順1または2 ➡ 手順4 ➡手順6と進んでください。

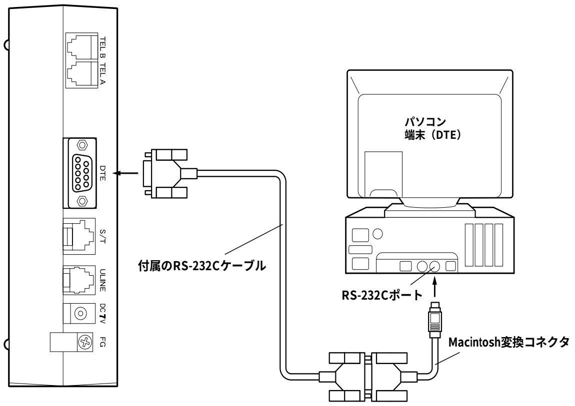
留意事項

●本手順書の内容は一例です。詳細は、ソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。

◇STEP1　パソコンと接続しましょう

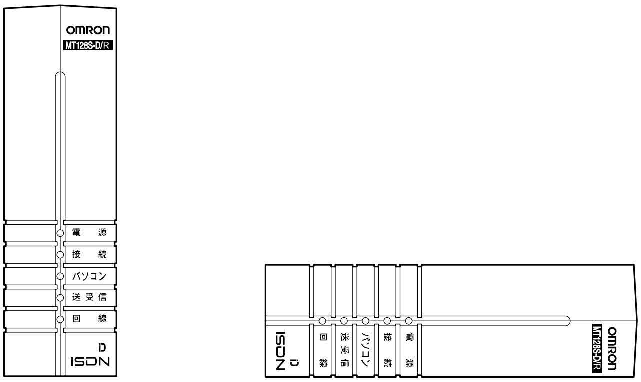
1　パソコンとの接続

パソコンの電源を OFF の状態で、パソコンの RS-232C ポートと、本装置の RS-232C コネクタを付属の RS-232C ケーブルと Macintosh 変換コネクタで接続した後、パソコンの電源を ON してください。（P7 の接続が終っていることをご確認ください。）



■ 設置

本装置は縦置きも横置きも可能です。
設置されるスペースに応じて、置き方を変えてください。



縦置き　　横置き

留意事項
●本体取扱説明書 P17 の「■接続時の注意点」もご一読ください。

◇STEP2　インターネットの接続設定をしましょう

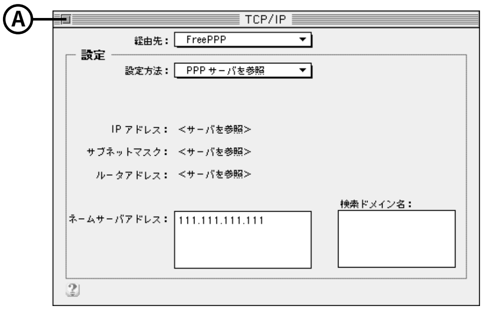
■インターネット接続手順

1 TCP/IPを設定する

① パソコンを起動してください。

次に、 のプルダウンメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択してください。「TCP/IP」画面が表示されましたら、以下の項目を設定してください。

- 経由先 .... お使いになるPPPモジュールによって選択。「Free PPP」または「Mac PPP」
- 設定方法 .... 「PPPサーバを参照」を選択
- ネームサーバアドレス .... プロバイダから通知されたドメインネームサーバアドレス（DNS）



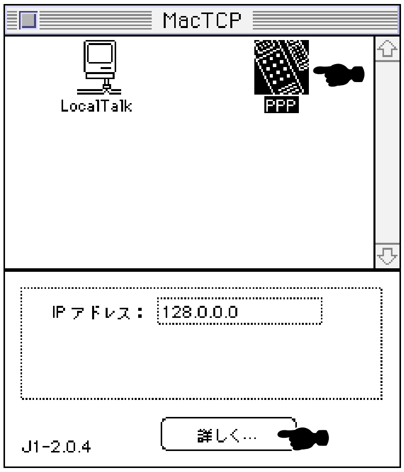
設定完了後 ボタンⒶ をクリックしてください。

② 「変更内容を現在の設定に保存しますか?」画面が表示されたら、「保存」をクリックしてください。

2 Mac TCPを設定する

① パソコンを起動してください。

次に、 のプルダウンメニューから「コントロールパネル」→「Mac TCP」を選択してください。「Mac TCP」画面が表示されましたら、「PPP」を選択し、「詳しく...」をクリックしてください。



② 「Mac TCP」を設定する。

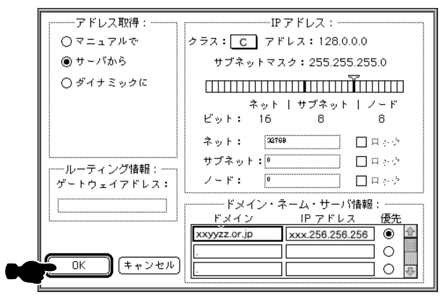
- アドレス取得　「サーバから」を選択
- ドメインネームサーバ情報

ドメイン=プロバイダから通知されたドメインネームサーバアドレス（DNS）

IPアドレス＝プロバイダから通知されたIPアドレス

優先＝チェックを入れてください。

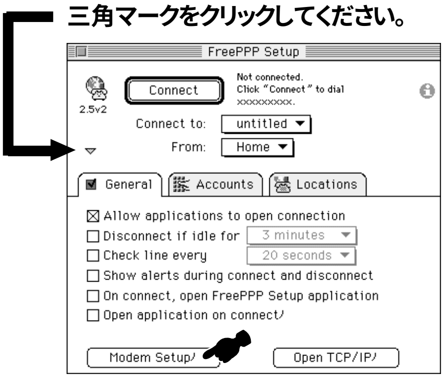
設定完了後「OK」をクリックしてください。



3 Free PPPを設定する

事前にFree PPPをインストールしておく必要があります。ここではFree PPPバージョン2.5で説明します。インストールされているFree PPPのバージョンにより画面が異なります。

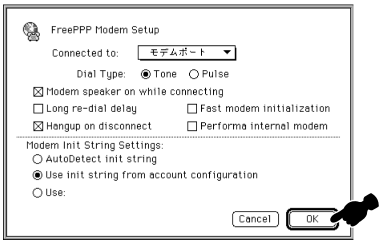
① **デスクトップのメニューバーの「FreePPPアイコン」をクリックし、プルダウンメニューの中の「Open Free PPP Setup」を選択してください。**
「Free PPP Setup」画面が表示されますが、もしこのパネルの下半分が表示されていなければ、三角マークをクリックしてください。



続いて「Modem Setup」をクリックしてください。

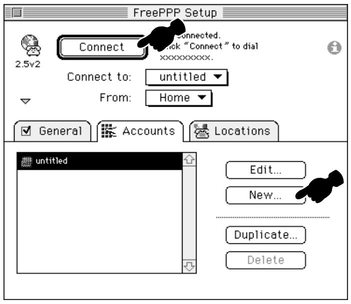
② **画面が表示されましたら、以下の項目を設定してください。**

- **Connected to**
  .... **本製品を接続したポートを選択「モデムポート」または「プリンタポート」**
- **Dial Type ...... 「Tone」を選択**
- **Modem Init String Settings**
  .... **「Use init string from account configuration」を選択**

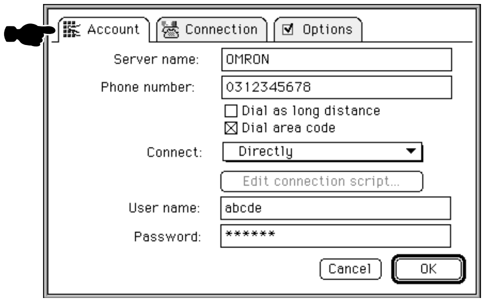


設定が完了しましたら、「OK」をクリックしてください。

③ **「Free PPP Setup」画面に戻りましたら、「Accounts」タブをクリックし、続いて「NEW...」をクリックしてください。**



② **「Account」タブをクリックして、サーバーの名前、アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワード等を設定してください。**



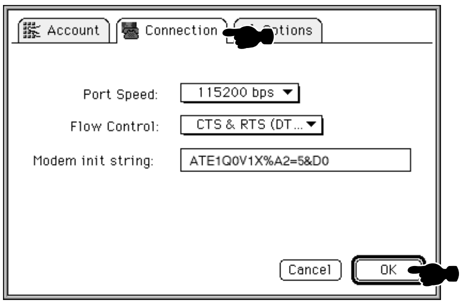
③ **「Connection」タブをクリックし、以下の項目を設定してください。**

- **Port Speed .... パソコンの端末速度を選択**
- **Flow Contorol**
  .... **「CTS & RTS（DTR）」を選択**
- **Modem init string**
  →同期64kbpsのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、

  ATQ0V1$N9=10%A2=5&DO

  →同期128kbpsのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、

  ATQ0V1$N9=10%A2=6&DO



④**「OK」をクリックしてください。設定が完了しました。**

MAC編

MAC編

4 Mac PPPを設定する

①「Mac PPP」インストールする。

-1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「CD-ROMアイコン」をダブルクリックし、その中の「Mac PPP」フォルダをデスクトップにコピーしてください。

-2 「Mac PPP」フォルダの中の「Config PPP」を「Macintosh HD」の「システムフォルダ」の中の「コントロールパネル」にコピーしてください。

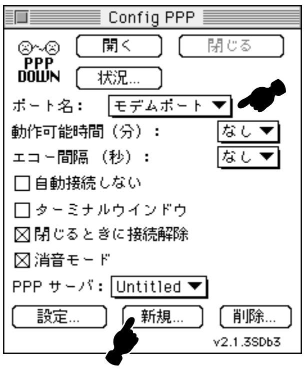
-3 「Mac PPP」フォルダの中の「PPP」を「システムフォルダ」の中の「機能拡張」にコピーしてください。

-4 コピーが終了したらデスクトップにある「Mac PPP」フォルダは「ゴミ箱」に捨てて、「ゴミ箱」を空にしてください。また、使用したCD-ROMは取り出してください。

-5 パソコンを再起動してください。

設定が有効になります。

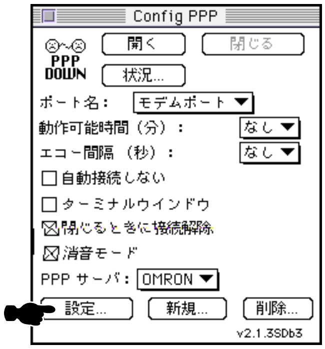
② のプルダウンメニューから「コントロールパネル」→「Config PPP」を選択してください。
ポート名には本製品を接続したポートを選択。
……….「モデムポート」または「プリンタポート」



③ 「新規…」をクリックしてください。
「PPPサーバ名：」へプロバイダ名等の任意の名前を入力し、「OK」をクリックしてください。



④ 「Config PPP」画面に戻りましたら、次に「設定」をクリックしてください。



⑤ 設定画面が表示されましたら、以下の項目を設定してください。
・ポート速度　　パソコンの端末速度を選択
・フロー制御　　「CTS&RTS(DTR)」を選択
・「トーン」を選択
・電話番号　…アクセスポイントの電話番号を入力
・モデムの初期値
→同期64kbpsのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、

ATQ0V1$N9=10%A2=5&DO

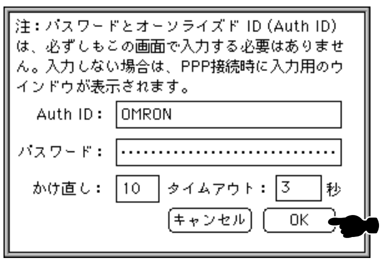
→同期128k bpsのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、

ATQ0V1$N9=10%A2=6&DO



設定が完了しましたら、「認証…」をクリックしてください。

⑥ 次に「Auth ID」と「パスワード」を入力してください。



⑦ 「OK」⇒「終了」の順にクリックしてください。
設定が完了しました。

◇STEP3　インターネットへ接続しましょう

Free PPPを使って インターネットへ接続する

① デスクトップのメニューバーの「FreePPPアイコン」をクリックし、プルダウンメニューの中の「Open Free PPP Setup」を選択してください。

② 「Free PPP Setup」画面が表示されましたら、「Connect to」に接続先を指定し、「Connect」をクリックしてください。プロバイダへ接続します。



③ 接続されましたら、WWWブラウザソフトを起動してください。
操作方法はブラウザソフトの取扱説明書等をご参照ください。URLアドレスを指定したり、ハイパーリンクを使用して、いろいろなホームページにアクセスすることができます。

④ 接続を終了するときは、「Free PPP Setup」画面の中の「Disconnect」をクリックしてください。



⑤ WWWブラウザソフトを終了する。「ファイル」→「終了」をクリックしてください。

留意事項

●インターネットへ接続を行う前にMT128S-D/Rを「ER信号常時ON」の設定にしてください。設定方法は、簡単設定ユーティリティを起動し、「データポート」→「ER信号制御」の中で「常時ONとみなす」にチェックを入れ、「設定」をクリックして完了です。
ただし、ER信号を常時ONに設定したときは、まれに、通信を終了した後でも電話回線が継ながったままの状態になり、電話料金が課金されることがあります。
そのため、通信を終了したときは、必ずMT128S-D/R前面の接続ランプが消えていることを確認してください。万一、接続ランプがついていたときは、MT128S-D/Rの電源を切/入してください。

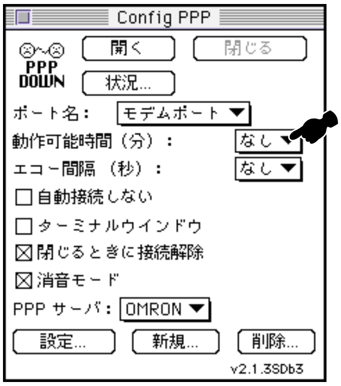
●「アップルメニュー」→「セレクタ」内、アップルトーク不使用にチェックを入れてください。

●本手順書の内容は一例です。詳細はソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。

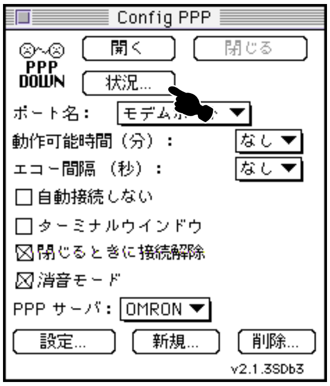
＊インターネットに接続できないときは「●お困りのときは」を参考に設定をご確認ください。

Mac PPPを使って インターネットへ接続する

① のプルダウンメニューから「コントロールパネル」の中の「Config PPP」を選択してください。
「PPPサーバ」の接続を指定してください。



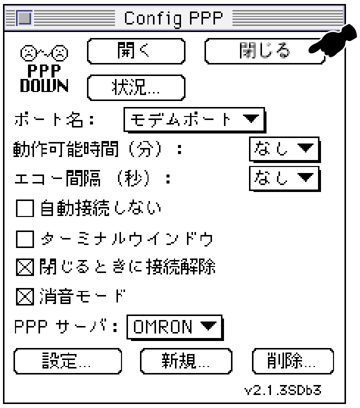
② 「開く」をクリックしてください。
プロバイダへ接続します。



③ 接続されましたら、WWWブラウザソフトを起動してください。

操作方法はブラウザソフトの取扱説明書等をご参照ください。URLアドレスを指定したり、ハイパーリンクを使用していろいろなホームページにアクセスすることができます。

④ 接続を終了するときは、「Config PPP」画面の中の「閉じる」をクリックしてください。



⑤ WWWブラウザソフトを終了する。「ファイル」→「終了」をクリックしてください。

留意事項

●インターネットへ接続を行う前にMT128S-D/Rを「ER信号常時ON」の設定にしてください。設定方法は、簡単設定ユーティリティを起動し、「データポート」→「ER信号制御」の中で「常時ONとみなす」にチェックを入れ、「設定」をクリックして完了です。

ただし、ER信号を常時ONに設定したときは、まれに、通信を終了した後でも電話回線が継ながったままの状態になり、電話料金が課金されることがあります。

そのため、通信を終了したときは、必ずMT128S-D/R前面の接続ランプが消えていることを確認してください。

万一、接続ランプがついていたときは、MT128S-D/Rの電源を切/入してください。

●「アップルメニュー」→「セレクタ」内、アップルトーク不使用にチェックを入れてください。

●本手順書の内容は一例です。詳細はソフトメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。

＊インターネットに接続できないときは「●お困りのときは」を参考に設定をご確認ください。

●お困りのときには

◇チェック表による確認

■Windows

インターネットへ接続できないまたは、接続後のトラブルが発生したときは、このチェック表を利用して、設定を確認してください。

チェック1 □ **アクセスポイントの電話番号を誤って入力していませんか?**

利用するアクセスポイントが、電話回線用(アナログ、モデム用)の場合は通信できません。もう一度、アクセスポイントが同期64kbps、または同期128kbpsであるかを、ご確認ください。また、アクセスポイントが複数ある場合は、他のアクセスポイントの電話番号に変更して接続できるかを確認してください。

チェック2 □



●詳細情報が開けますか?

設定したモデム設定ファイル(INFファイル)とパソコンに接続したMT128S-D/Rが正常に動作するかどうかを確認します。

1)「スタート」をクリックして、「設定」の中から「コントロールパネル」の「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。

2)「モデムのプロパティ」の「検出結果」タブをクリックして開いてください。
「MT128S-D/R」が表示されているポートのアイコンをクリックし、「詳細情報」をクリックしてください。
パソコンとMT128S-D/Rの交信が始まるとともに、「お待ちください」というメッセージが表示され、交信が完了すると「詳細情報」が開きます。



3)「詳細情報」にMT128S-D/Rを確認できたら接続は 完了です。「OK」をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。(ERRORが返るコマンドがありますが、異常ではありません。)



詳細情報が開けない場合は下記の内容を確認してください。

●通信ポート(COMポート)が有効になっていますか?
「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。通信ポート、COM欄に⊗マーク、?マーク、!マークがついていないか確認してください。
⊗?!があった場合は、削除し、パソコンを再起動してください。その後、再度デバイスマネージャを確認してください。

●通信ポート(COMポート)はパソコン内蔵モデムと同じポートを使用していませんか?また、接続は間違っていませんか?

・内蔵モデムと同じポートを使用している場合、他のポートにドライバをインストールしてみてください。
・COMポートが複数ある場合、再度ケーブルの接続ポートが正しいか確認してみてください。

●シリアルスピードを変更してみる。
「コントロールパネル」→「モデム」→「MT128S-D/R」を選択し、プロパティをクリックしてください。「情報」または「全般」タブにあります最高速度を下げて試してください。

チェック 3 ☐



●回線に異常はありませんか?

MT128S-D/Rの回線ランプが速い点滅のままの場合、極性リバーススイッチを切り替えてください。
(詳しくは本体取扱説明書P14参照)

●他のモデムを選択していませんか?

「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」→「ご利用の接続アイコン」をクリックし、右クリックして「プロパティ」を開いてください。



正しく機種名が選択されているか、ご確認ください。

チェック 4 ☐



●「回線が使用中です」というメッセージが出て接続できない。

アクセスポイントの回線が混んでいることが考えられます。アクセスポイント先の電話番号を変更してみてください。

●自動発信規制がかかっていませんか?

本製品では、話中の場合の同じ電話番号への発信は3分間で2回以内に制限されます。最初の発信から3分待つか、別の電話番号へ発信してください。

チェック 5 ☐



●回線が混んでいませんか?

回線が混雑してつながらない可能性があります。しばらくしてから、もう一度接続してみるか、他のアクセスポイントに接続してどうかをご確認ください。

●アクセスポイントに間違いがありませんか?

接続先の電話番号に間違いないかご確認ください。

チェック 6 ☐



●パスワードが間違っていませんか?

ID、パスワードが間違っている可能性があります。もう一度正しく入力されているかご確認ください。また入力方法は半角入力で大文字、小文字などを間違えないようご注意ください。

チェック 7 ☐



●接続速度が64000bpsにならない。

ダイヤルアップで接続後にパソコンに表示される速度は、パソコンーターミナルアダプタ間の速度を表示しているため、64000bpsまたは128000bpsという表示にはなりません。
接続状況は、ターミナルアダプタ前面のランプでご確認ください。64000bpsで接続しているときは「接続」ランプが緑になり、128000bpsで接続しているときは「接続ランプ」は赤になります。

チェック8 □ **「サーバーの種類で指定された互換性のあるネットワークプロトコルを処理できませんでした。コントロールパネルでネットワーク設定を調べてから接続し直してみてください。」というメッセージが出て接続できない。**

- 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」→「接続するプロバイダのアイコン」をクリックし、「ファイル」→「プロパティ」をクリックします。
  「サーバーの種類」タブをクリックし、「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけがチェックされていますか?
- NEC98シリーズでCOM1ポートをご利用の方は以下をご覧ください。PC98シリーズのときは、WIndows95のCOM1ポートドライバの仕様により、最高速度を38400以上に設定すると接続できないことがあります。最高速度を下げて使用してください。

（変更方法）
「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」→「接続するプロバイダのアイコン」をクリックし、「ファイル」→「プロパティ」をクリックします。
「設定」をクリックし、表示されたプロパティ画面の最高速度を下げます。
　例えば　115200→19200へ
また、これらに関する情報を以下より入手できます。

http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/pc98.html（99.4.23現在）

チェック9 □ **ブラウザを開いたときに「～が見つかりません」「http://～/が見つかりません」などのメッセージが表示される。**

- TCP/IPの設定が間違っていないか、確認してください。（本冊子P27を参照）
- 受信バッファを低くしてみる。
  「コントロールパネル」→「モデム」→「MT128S-D/R」を選択し、プロパティをクリックしてください。
  「接続」タブにある「ポートの設定」の受信バッファを下げて試してみてください。

チェック10 □ **再接続、再起動してください。**

MT128S-D/Rとパソコンの電源をOFFし、RS-232Cケーブル、ISDN回線を抜いてください。再度接続後、最後にパソコンの電源を入れてください。

チェック11 □ **設定を工場設定値に戻してください。**

簡単設定ユーティリティを使用して、初期化します。（詳しくは、取扱説明書P67参照）
または、設定スイッチを使用して初期化をします。（詳しくは、取扱説明書P15参照）

チェック12 □ **ターミナルモードでプロバイダへ接続ができますか?（通信テスト）**

CONNECTまたはLOG INの表示がでますか?
ハイパーターミナルまたは簡単設定ユーティリティのターミナルモードを使用してください。

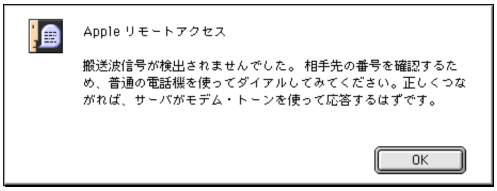
チェック13 □ **オンラインサインアップで接続できない場合**

パソコン（OS）にインストールされているオンラインサインアップまたはプロバイダの無償CD-ROM等からのサインアップはISDN回線で接続できない場合があります。一度プロバイダに、サインアップ用のアクセスポイントがISDN回線接続に対応しているかをご確認ください。なお、この手順書は、プロバイダ加入済での説明となっております。ご了承ください。

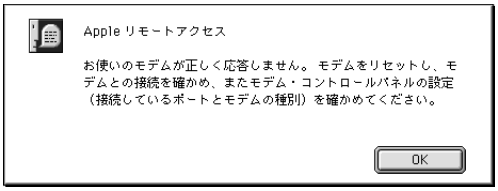
■Macintosh

インターネットへ接続できないときは、このチェック表を利用して、設定を確認してください。

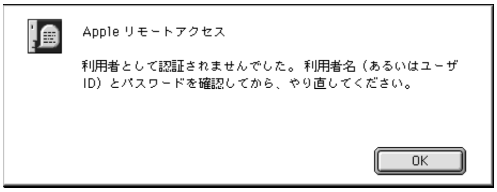
チェック1 □ **エラーメッセージが表示され接続できない。**



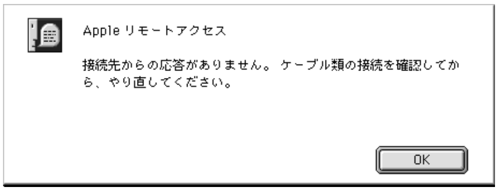
- 「コントロールパネル」→「モデム」→「ダイヤル」の設定がトーンの設定になっているかご確認ください。（本冊子P30,36,41,42参照）
- ISDN回線が本製品背面のULINEに接続されているかご確認ください。



- 経由先で本製品を接続したポートを選択しているかご確認ください。（本冊子P30,36,41,42参照）
- モデムの設定で本製品を選択しているかご確認ください。（本冊子P30,36,参照）



- 「名前」（ユーザーID等）に誤りはありませんか?例えばNIFTYのHyperRoad64に接続する場合は「名前」の前に「NIM-････」と入力する等
- パスワードに誤りはありませんか?（本冊P29,35,41,42参照）



再度ご確認ください。

- アクセスポイントの電話番号を誤って入力してませんか?
- 利用するアクセスポイントが、電話回線用（アナログ、モデム用）の場合は通信できません。もう一度、アクセスポイントが同期64kbps、または、同期128kbpsであるかを、ご確認ください。また、アクセスポイントが複数ある場合は、他のアクセスポイントの電話番号に変更して接続できるか確認してください。

チェック2 □ **アップルトーク不使用に設定してありますか?**

「アップルメニュー」→「セレクタ」内「アップルトーク」を不使用欄にチェックを入れてください。

チェック3 □ **自動発信規制がかかっていませんか?**

本製品では、話中の場合の同じ電話番号への発信は3分間で2回以内に制限されています。最初の発信から3分待つか、別の番号へ発信してください。

チェック4 □ **ER信号は常時ONに接続してありますか?**

簡単設定ユーティリティにて設定してください。
（本体取扱説明書P56参照）
設定方法は、簡単設定ユーティリティを起動し、「データポート」の中で「ER信号制御」を「常時ONとみなす」に設定し、閉じて保存を行い終了してください。
ただし、ER信号を常時ONに設定したときは、まれに通信を終了した後でも電話回線が継がったままの状態になり、電話料金が課金されることがあります。そのため、通信を終了したときは必ずMT128S-D/R前面の接続ランプが消えていることを確認してください。
万一、接続ランプがついていたときは、MT128S-D/Rの電源を切/入にしてください。
（電源プラグの抜き差し）

チェック5 □ **設定を初期の状態に戻してください。**

簡単設定ユーティリティを使用して、初期化をします。
（詳しくは、本体取扱説明書P67参照）
または、設定スイッチを使用して初期化をします。
（詳しくは、本体取扱説明書P15参照）

チェック 6 ☐ **ターミナルモードでプロバイダへ接続できますか?(通信テスト)**

- CONNECTまたはLOG INの表示がでますか?
- 簡単設定ユーティリティのターミナルモードを使用してください。

チェック 7 ☐ **「DNS項目にありません」や「このサーバーは見つかりません」などのエラーメッセージが表示される。**

ドメインネームサーバー(DNS)のIPアドレスやドメイン名の設定が間違っていないか、確認してください。

チェック 8 ☐ **オンラインサインアップで接続できない場合**

パソコン(OS)にインストールされているオンラインサインアップまたはプロバイダの無償CD-ROM等からのサインアップはISDN回線で接続できない場合があります。一度プロバイダに、サインアップ用のアクセスポイントがISDN回線接続に対応しているかご確認ください。なお、この手順書ではプロバイダ加入済でのご説明となっております。ご了承ください。

WINDOWS編

●お困りのときには

◇ドライバの削除方法

■Windows

「モデム設定ファイル」の削除

1「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。

2「システム」をダブルクリックして、その中の「デバイスマネージャー」タブをクリックしてください。

3「モデム」の下の「OMRON MT128S-DR（同期64K)」を選び「削除」をクリックしてください。
表示がない場合は 4）に進んでください。



4「スタート」メニューの中の「検索」の「ファイルやフォルダ」をクリックしてください。検索画面が表示されます。

5「名前と場所」タブをクリックし、

①「名前」欄は以下のように入力してください。
¥WINDOWS¥INF
→半角大文字にて入力してください。

②「含まれる文字列」欄は以下のように入力してください。
MT128S-DR
→半角大文字にて入力してください。

③「探す場所」欄は以下のように設定してください。
（C：）
（ここでは、C：¥を例にしていますが、お客様によってドライブ名が違う場合があります。最初に確認していただいたWindows98の入っているドライブ名にしてください。）



④「サブフォルダも探す」をチェックしてください。

6「検索開始」をクリックしてください。

7検索して表示されたファイルは念のためフロッピーディスクにパックアップをとって頂いた上で削除を行ってください。
（ファイル名をクリックし「ファイル（F）」を選び「削除」にて削除できます。）削除が終わったら「ファイル（F）」を選び、「閉じる」をクリックし、検索の画面を閉じてください。

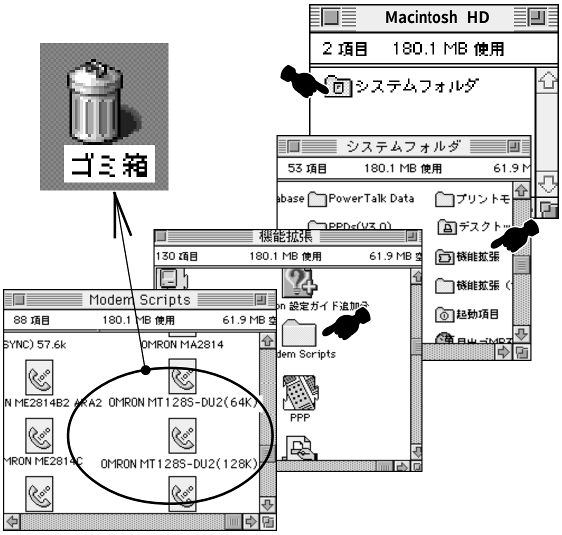
8「ごみ箱」をダブルクリックします。
「ファイル」をクリックし「ごみ箱を空にする」を選び、削除したファイルをごみ箱からも削除してください。

9以上の操作終了後、本製品に付属のインターネット操作手順をご覧頂き「モデム設定ファイル」を再インストールしてください。

■Macintosh

「CCL ファイル」を削除する

「Macintosh HD」→「システムフォルダ」→「機能拡張」→「Modem Scripts」の中にある「OMRON MT128S-DR（64K)」または「OMRON MT128S-DR（128K)」をゴミ箱に移動してください。



以上でドライバの削除は終了です。

Fax No.: 0559-77-0575
オムロンカスタマサポートセンタ行

お問い合わせ票

＊お客様がカスタマサポートセンタにお問い合せいただくときに本票をご利用ください。
＊ご質問の前に「お困りのときには」を一度ご参照下さい。

お名前		メールアドレス	
電話番号		ご購入日 / 台数	年　月　日 /　台
ご住所	〒		＊本製品の右側面に貼ってあるラベルの SERIAL NO. または製造番号を記入下さい
型式名	MT128S-D/R	製造番号＊	
パソコン	メーカー名： 型　式　名：		
ご使用 OS およびバージョン ＜例：Windows98,Mac OS8.6 ＞			
契約者回線番号	☎　（　　）		
追加電話番号 ＜どちらかを選択＞	□ i ナンバー　□ダイヤルイン ☎　（　　）		
ナンバーディスプレイ ＜どちらかを選択＞	□使用する　□使用しない		
その他 NTT サービスご契約内容 ＜例：ボイスワープ , コールウェイティング等＞			
接続アナログ機器名	TEL A（メーカー名：　） （商品名 , 型式名：　）		
	TEL B（メーカー名：　） （商品名 , 型式名：　）		
プロバイダ	□未加入　□加入済（プロバイダ名：　） □同期 64K　□同期 128K		
具体的な内容＜エラーメッセージなど；詳しく症状をお書きください＞			

ターミナルアダプタ
MT128S-D/R
はじめにお読みください

＊認証番号は本体側面ラベルを
ご参照ください。

2000年2月発行

OMRON

周辺機器事業部

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1（ゲートシティ大崎ウエストタワー14F）
TEL：03-5435-2010

技術的なお問い合わせは周辺機器カスタマサポートセンタまで。

オムロン株式会社　周辺機器事業部

周辺機器カスタマサポートセンタ　TEL：0559-77-4717　FAX：0559-77-0575

住所：〒411-8511　静岡県三島市松本66

●受付時間　月曜日～金曜日　　9:30～21:00（12:00～13:00を除く）

土曜日　　10:00～18:00（12:00～13:00を除く）

＊　祝祭日および当社休日を除きます。

＊NIFTY-Serve SMODEMVAにて24時間ご質問をお受けしています。

＊メールでのご質問を受けつけております。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

＊OMRON周辺機器事業部ホームページのご紹介

http://www.omron.co.jp/ped-j/index.html

修理のお問い合わせは周辺機器メンテサポート部門まで。

オムロン株式会社　周辺機器事業部

周辺機器メンテサポート係　TEL：0559-77-9039　FAX:0559-77-9092

住所：〒411-8511 静岡県三島市松本66

●受付時間　月曜日～金曜日　　9:00～17:00（11:45～13:00を除く）

＊　祝祭日および当社休日は除く

保守パーツのお問い合わせはオムロンダイレクトまで。

オムロン株式会社　周辺機器事業部

周辺機器オムロンダイレクト　TEL：0559-77-9037

住所：〒411-8511 静岡県三島市松本66

●受付時間　月曜日～金曜日　　9:00～16:30（11:45～13:00を除く）

＊　祝祭日および当社休日は除く

初版
02/00
0694101-4B

オムロン株式会社